

第 51 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和 2 年 9 月 4 日(金) 15:00～16:31

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田 総務部長、金城 企画調整統括監、普天間 環境企画統括監、
宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、幸地 農政企画統括監、
松永 産業振興統括監、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、
伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、
糸数 保健衛生統括監、真栄城 医療企画統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から新規感染者発生情報や療養状況等について報告
- 病院事業局から、各県立病院に入院している新型コロナウイルス感染症患者の状況について報告。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から米軍基地内の陽性者発生情報について報告

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について

- 総括情報部から警戒レベル判断指標の状況及び本県の「直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規感染者数」が 11.19 人で、8 月 1 日以降ずっと全国ワーストが続いていることについて報告

(4) 宿泊療養施設の運用状況について

- 総括情報部から那覇市内、宮古地区、八重山地区で運用している宿泊療養施設の利用状況等について報告

(5) 沖縄県緊急事態宣言後の状況について

- 総括情報部から K D D I Location Analyzer のデータを利用して作成した滞在人口分析について報告

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から県内においてクラスターの発生が確認されている施設や、当該クラスターに関連する陽性者の数等について報告

(7) 看護師等の派遣要請について

- 本県からの要請に応え、全国知事会や自衛隊、NPO法人ジャパンハートから看護師等が派遣されている状況や、クラスターが発生している複数の医療機関で支援活動を行っている状況について総括情報部から報告。

3 議題

(1) 新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベルについて

- 警戒レベル判断指標の各項目の状況について総括情報部から報告があり、現在の沖縄県の警戒レベルは引き続き第3段階の感染流行期にある事を確認した。

(2) 緊急事態宣言について

- 警戒レベル判断指標は第3段階を維持していること、1000人を超える療養者数や1週間に600人以上の新規感染者数を記録した8月中旬をピークに、現在は終息に向かう道筋が見えてきている事、検査体制や医療提供体制の拡充を図っていること等の理由から、9月5日まで続いている緊急事態宣言を終了する案が示された。
- 緊急事態宣言終了後の各種対応策について、緊急事態宣言は終了するが、引き続き警戒する必要があることを県民に呼びかける文書「緊急事態宣言終了後の対応について」の内容について、総括情報部から文案を説明し、協議した。
- 県内の警戒レベルが第3段階にあることを踏まえ、県の実施する各種感染対策を「第3段階における実施内容について」として取りまとめた。併せて、各種支援策を「事業活動及び県民に対する支援策等」として取りまとめた。両方の取りまとめ内容について、確認した。
- 今後、感染拡大やその兆候が確認された際等には、「沖縄県新型コロナ注意報」として、ピンポイントかつタイムリーに注意喚起を行っていくことについて確認した。
- ◇ 注意報を発出する基準について、どのような場合にどのような内容を発表すべき

か等、様々な意見があったが、感染拡大は様々な場面や場所で起こり得るため、予め数値などを示す基準の設定は行わない旨決定された。ただし、県民に分かりやすい表現で、効果的なタイミング及び内容で発出する必要があることを確認した。

- 緊急事態宣言を終了するにあたり、2つの選択肢が考えられる。1つは、新規感染者の発生がゼロとなるまで徹底的に封じ込め対策を取る方法。もう1つは、ある程度の感染者発生を容認しつつ、感染拡大防止対策を取る方法。沖縄県としては、後者を選択することとし、しっかりとした医療提供体制と検査体制を構築して県民の不安の払拭に努めるとともに、社会経済活動の展開に努めていく方針とすることを確認した。

<その他意見等>

- 県外から派遣していただいた保健師を、逼迫している各保健所への応援として派遣していた。そのおかげで感染経路不明の割合が下がっていった。今後は、協会けんぽから派遣する体制を構築する方針であることについて、保健医療部から報告があった。
- 全国知事会や自衛隊など、県外から派遣していただいた看護師について、9月18日までの間はクラスターが発生した施設で看護業務の応援として活躍していただいている。10月2日以降は看護協会に応援看護師派遣登録の依頼をすることにより、感染が拡大した際にも県内の看護師で人材確保できる体制を整える方針であることについて、保健医療部から報告があった。
- 県民へ注意喚起を呼びかける資料等においては、接触確認アプリ COCOA や、県の公式LINE アカウントの利用促進を記載する必要がある事を確認した。

4 閉 会

- この後、緊急事態宣言を終了すること等について知事から記者発表することを確認し、閉会とした。